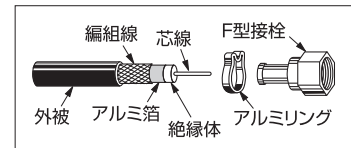
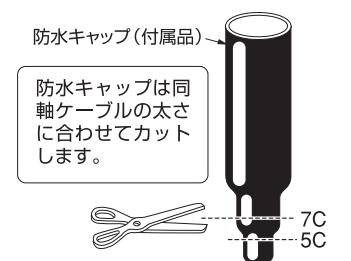
ケーブルのつなぎかた

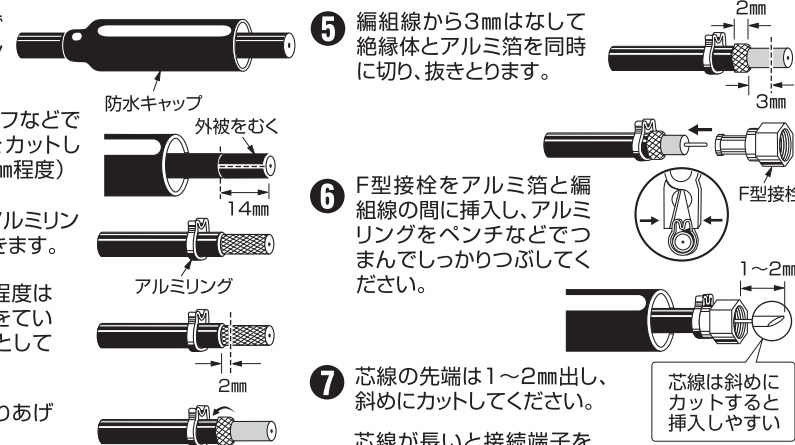
1 同軸ケーブル（5CFB）の加工方法とF型接栓の取付方法（ケーブル、接栓共に別売品）

防水キャップは位相調整器に付属されているものを使用してください。位相調整器の出力端子用ケーブル加工に利用ください。

1. カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）
2. 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
3. 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
4. 編組線をめくりあげます。
5. 編組線から3㎜はなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。
6. F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。
7. 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。

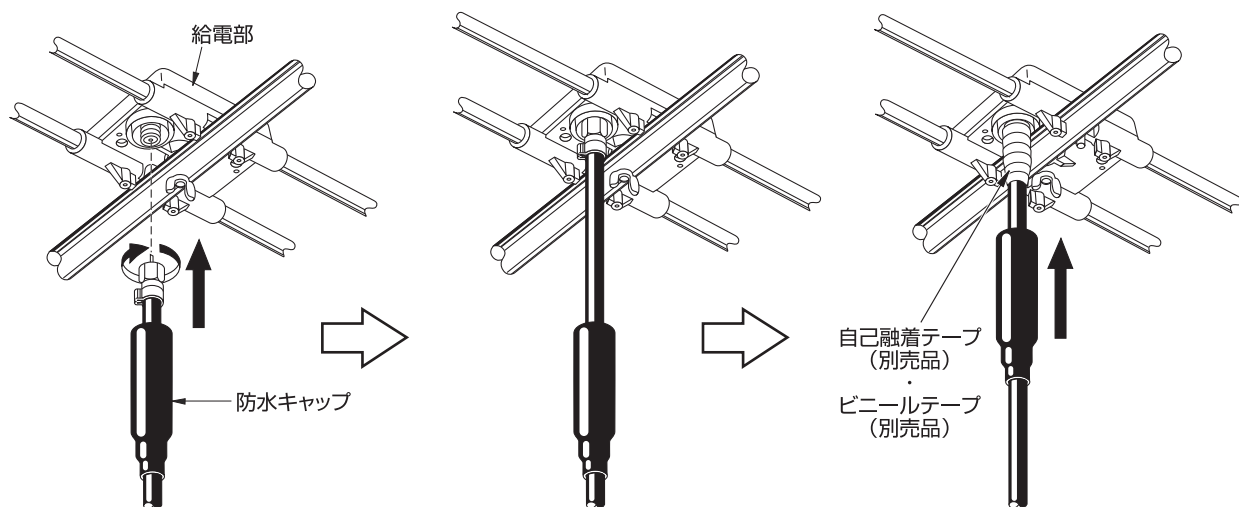
芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

ポイント

●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。

●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

⚠注意
●芯線と編組線とをショートさせないように注意しましょう。
●同軸ケーブルの加工は芯線や編組線をキズつけないようにご注意ください。また、このとき芯線が指に突き刺さらないようにご注意ください。

2 同軸ケーブルの接続方法

付属品の同軸ケーブルを給電部の出力端子に接続し、スパナなどを用いて締付けます。このときの接栓の締付けトルクの目安は約2.0N・m（20kgf・cm）です。締付け後、防水キャップを奥に突き当たるまで、しっかり挿入して完了です。また、塩害地、雨の多い地域では、雨水の浸入を防ぎ、性能を維持するため、防水キャップを取付ける前に別売の自己融着テープを巻き、さらにビニールテープを巻きつけた後、防水キャップを取付けることをおすすめします。

お客様窓口	0570-091039　ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243 ご利用時間　9:00～12:00 13:00～17:30（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
ホームページアドレス http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

QT486-1　平成23年9月

日本アンテナ

取扱説明書
アンテナ本体側組立編

混信対策用
可変指向性アンテナ
Model NGE-14UF

UHF位相調整器の操作は専用取扱説明書をご使用ください。

このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

NGE-14UF

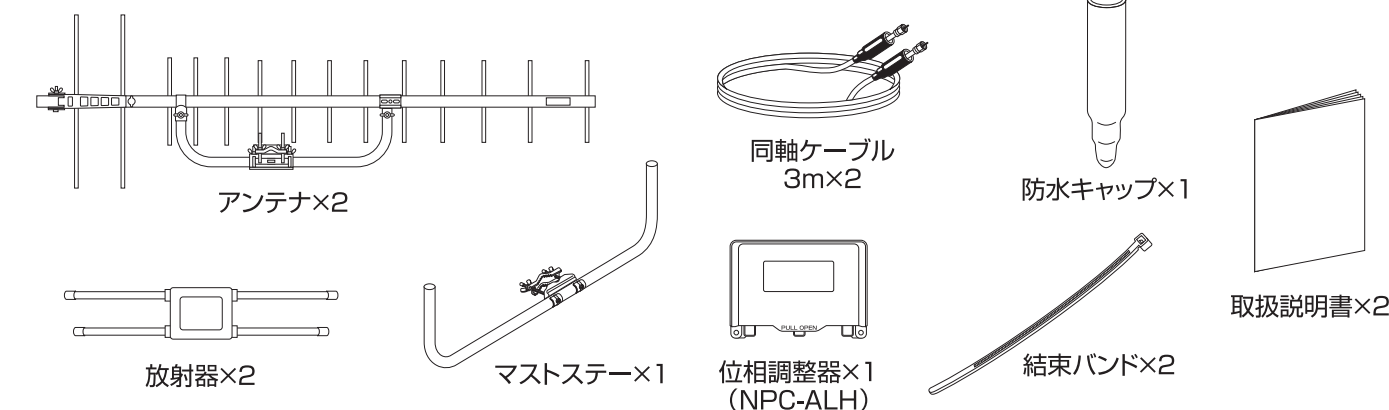
アンテナの特長

●近接地区から到来する妨害波を低減できます。
●スタック合成にて、鋭い指向性が得られます。
●同相合成は左右に指向性を調整し、妨害波を低減させます。
●逆相合成は左右にヌル点を可変調整し、妨害波を低減させます。
●逆相合成では、全チャンネル同じ角度にヌル点ができます。

標準性能

項目	単位	値
受信チャンネル	〔ch〕	13～62
受信周波数	〔MHz〕	470～770
アンテナ素子数		14×2基
アンテナ間隔	〔cm〕	60
偏波面		水平／垂直
アンテナ動作利得	〔dB以上〕	8.0（同相合成時）
電圧定在波比	〔以下〕	2.0
逆相ヌル点可変範囲	〔°〕	±10～30（スイッチ切換）
同相指向性可変範囲	〔°〕	±0～8（スイッチ切換）
ヌルの深さ	〔dB以上〕	10.0
半値幅	〔°〕	14～28（同相0°の時）
インピーダンス	〔Ω〕	75 F型（C15形）
適合マスト径	〔mm〕	φ22～50
外形寸法（H×W×D）	〔mm〕	428×956×1088
質量（重量）	〔kg〕	2.7

同梱品

下記の部品が同梱されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

取扱上のご注意

アンテナの設置工事は専門の施工業者にご依頼ください。

安全上のご注意

この「安全上の注意」、「設置上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

〔表示説明〕

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

〔図記号例〕

⃠	「⃠」は禁止の行為である内容を告げるものです。図記号の中や近くに具体的な禁止内容を示しています。
●	「●」は強制の行為や指示する内容を告げるものです。図記号の中や近くに具体的な指示内容を示しています。
△	「△」は注意（注意・警告を含む）する内容を告げるものです。図記号の中や近くに具体的な注意内容を示しています。

⚠警告

●アンテナ工事およびテレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。

●組立や取付のねじやボルトは締付け力（トルク）に指定がある場合は、その力（トルク）で締付け、堅固に固定してください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

●雷が鳴りだしたら、アンテナやケーブルには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

●台風の後や積雪の後などは、アンテナや取付装置に緩みや異常が生じることがあります。そのままにすると破損したりして、けがや故障の原因になることがあります。点検はお買い上げの販売店または工事店にご依頼ください。

●アンテナや取付装置などに洗濯物や他の物品を掛けたりしないでください。倒れたり、破損したりして、けがの原因となることがあります。

設置上のご注意

⚠警告

電灯線に触れないようにできるだけ離してください。

アンテナを設置する場合は、安全のためにしっかりした足場を確保した上で作業してください。

アンテナ設置の際、アンテナ素子などでケガをしないよう十分に注意してください。

⚠注意

建物や樹木などの陰はさけ、見通しのよい場所を選んでください。

交通量の多い道路、ネオン、高圧線などからできるだけ離してください。

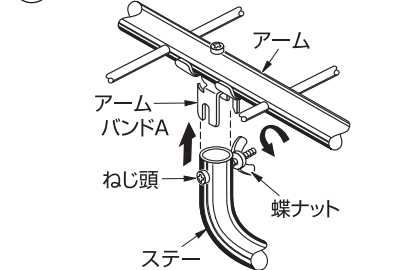
他のアンテナとのキョリはできるだけ離してください。

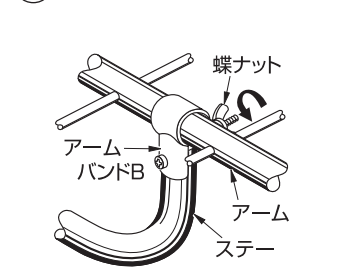
アンテナは良好な画像が得られる場所、方向、高さを選んでください。

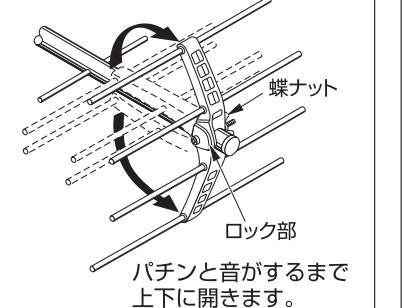
同軸ケーブルは、トイや屋根などに触れないようにしてください。

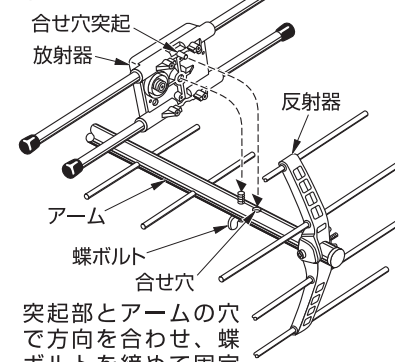
組立方法

●本アンテナは梱包状態で水平受信用（横スタック）に組付けされています。

① ステーの組立（A）

蝶ナットをゆるめ、ステーをアームバンドAに差込み、ねじ頭が確実に奥まで入っていることを確認し、蝶ナットをしっかり締付けてください。

② ステーの組立（B）

Aの組立が終わったことを確認後、蝶ナットをしっかり締付けてください。

③ 反射器の組立

ロック部が確実にロックされていることを確認した後、蝶ナットをしっかり締付けてください。

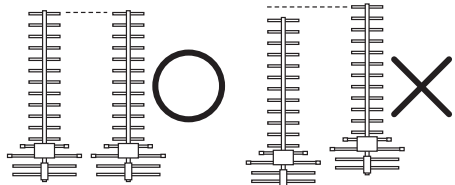
④ 放射器の取付

突起部とアームの穴で方向を合わせ、蝶ボルトを締めて固定します。

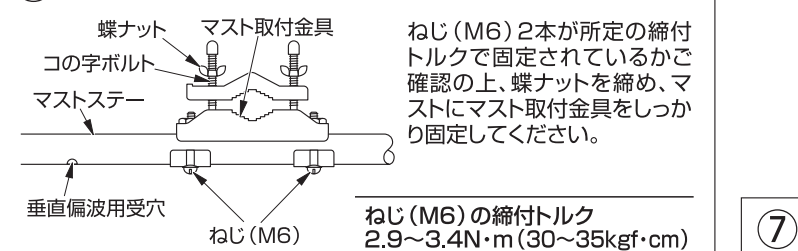
⑤ マストステーへの取付

〔水平偏波受信時（横スタック）〕

マストステー取付前に今一度、ねじが固く締付けられているかご確認の上、マストステーにアンテナをしっかり取付けてください。

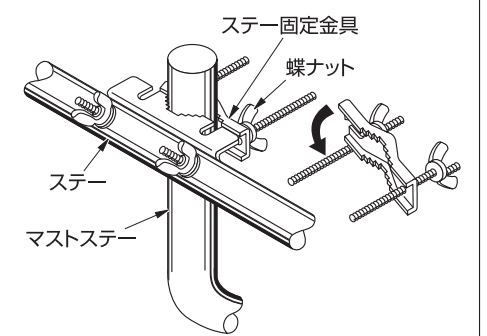
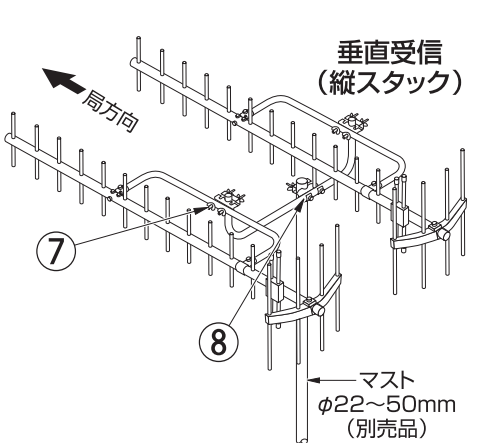
ポイント

2本のアンテナが真横に並ぶように取付けてください。取付方が悪いと、正常に作動しないことがあります。

⑥ マストへの取付〔水平偏波受信時（横スタック）〕

ねじ（M6）2本が所定の締付トルクで固定されているかご確認の上、蝶ナットを締め、マストにマスト取付金具をしっかり固定してください。

ねじ（M6）の締付トルク 2.9～3.4N・m（30～35kgf・cm）

⑧ マストへの取付〔垂直偏波受信時（縦スタック）〕

ねじ（M6）2本を取りはずして垂直偏波用受穴位置にマスト取付金具を移動させ、所定の締付トルクでねじ（M6）2本を締付けてください。次に蝶ナットを締め、マストにマスト取付金具をしっかり固定してください。

ねじ（M6）の締付トルク 2.9～3.4N・m（30～35kgf・cm）

⑦ マストステーへの取付

〔垂直偏波受信時（縦スタック）〕

ステー固定ねじの蝶ナットをゆるめ、ステーを矢印のように90°回転させます。

マストステー取付前に今一度、ねじが固く締付けられているかご確認の上、マストステーにアンテナをしっかり取付けてください。